

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今年で開設9年目になります。新しい入居者の方を迎え、住み慣れた地域社会の中で安心して、その人らしく暮らしていけるように、ホーム独自の運営方針を作っています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が目につく場所に運営理念を掲示しています。また、新人職員の採用時には理念を説明し全員に理解を得るようにしています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	開設時に、民生委員の方の集まりに参加させていただきホームについての理解やご協力をいただきたい等の話をさせていただきました。また、年に一度の全体においての家族会や、二ヶ月に一度の運営推進会議などにおいても話をしています。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	普段の挨拶や、早出職員と入居者の方による庭掃除の際の挨拶や手渡しによる回覧板の受け渡しを行っています。近所に住んでらっしゃる町内会長や老人会長の方達から、町内行事の案内をいただいています。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の方が町内会に入っており、町内会費の支払いや、子ども会による廃品回収に参加しています。町内の一斉清掃の参加や、中学校の体験学習受け入れ、幼稚園との交流など、普通につきあいができるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	近隣の中学生の職場体験学習の受け入れや、看護学生、ヘルパー2級受講者、認知症実践者研修の受け入れをしています。また、電話による相談を受けたこともあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全体において自己評価表を考え、運営者や職員間で改善に取り組んでいます。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長、民生委員、老人会長、地域包括支援センター職員、家族、入居者、地域の方、本部、管理者、職員が参加し、ホームの近況や取り組みについての報告をしています。質問にも答え、改善への努力をしています。また、非常火災時を想定して、近隣の方や家族と共に避難訓練もおこないました。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福岡市が「社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会」に委託している、認知症介護実践者研修において実施されている施設実習の受け入れをし、共に学ぶ機会になっています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	年に1度内部研修をおこなっています。入居者の方に成年後見制度を利用している方がおられるので、その方を通して弁護士の方との交流もおこなっています。また、マニュアルにも記載されており、入社と同時に学べるようにしています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ふれあい会全体で身体拘束廃止委員会を設置し、管理者が代表して出席し、ホーム内においての話し合いや、ミーティングにおいての話し合いをしています。現在、虐待はありませんが、小さな事でも気付くことができるように日頃より職員間で話し合っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居契約時には、入居されるご本人とご家族に同席して頂き、契約書の内容を1つずつ説明させていただき、不明な点があれば、その都度お答えし、内容についてご理解が出来たかの確認を行っています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に入居されている方の表情や行動、状態を観察し、何でも言いやすい関係を築いていけるようにしています。会話の中で意見や不満が出たときは、解消できるように職員間で話し合っています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や、月に1度の「ふれあい通信」によって健康面、レクリエーション、生活状況などを報告しています。金銭管理においても毎月報告しています。また、必要に応じて電話による報告もしています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や、運営推進会議においての話し合いをしています。また、苦情についての相談は入居契約時に公的機関の苦情係の連絡先を伝えてあります。いただいた意見については、ミーティングや本部会議においての話し合い後、ご家族に報告をしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度、ミーティングを開催しています。事前に提案書を出しているため、参加、不参加に関わらず、検討したい内容があれば記入してもらっています。また、年に2回、本部職員による個人面談を行い、意見・要望・提案をする機会を設けています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>生活のリズムに合わせた、シフト体制をとっています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職がないように努めています。同じグループ内で必要に応じての移動の場合は、利用者の方とご家族に事前に報告をし、理解をいただけるようにしています。職員同士で精神面のフォローも心がけています。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>募集や採用においては性別、年齢などで採用対象から排除されることはありません。。個人の個性や能力を生かしながら勤務できるように努めています。。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>月に1度のミーティングにおいての話し合いをしています。普段のサービスや接遇においても、日々振り返りながらおこなっています。入居されている方の「その人らしさ」を第1に考え、1人1人の思いを尊重していくように取り組んでいます。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修や各担当会議を行っており、関連会社などをお招きし、講習会を開催しています。参加した職員はミーティングにて報告しホーム内で役立てています。新人職員には(プリセプター)が付き、業務指導やよき相談相手となり、アドバイスをしています。また、資格取得に向けての本部による講習会や学校に通っている職員もいます。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症介護実践者研修の実習受け入れを行っており、その際他施設の方との情報交換や意見交換をしています。</p>		<p>認知症介護実践者研修で面識を持った方達との交流を続けていますので、ボランティアの話しもでており、8月に行う予定の夏祭りに参加してもらう予定になっています。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>当ホームは2階建てになっていますが、入居されている方達は皆さん1階にいらっしゃるのので、職員は2回にて休憩しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>本部は全職員の勤務状況を把握しており、定期的に苑を訪問しています。また、各自が個人目標を設定し、それを達成できるように努めています。</p>		
1. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>体験入居前に、その方のご自宅や入所施設先等に伺い、その際ご本人とお話して要望や普段の様子をお聞きし、事前に情報を知る事で信頼関係が築いていけるように、スムーズな入居生活に入れるように努めています。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族の方達とは2階にてゆっくりと話していただけるようにしています。また、ご希望に応じて指定された場所にて話しを聞かせていただいています。今までの経過や現在お困りな事、不安な事、要望などをお聞きし、必要なサービスを検討しています。</p>		
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に連絡されて見学に来られる方や、直接来られる方、電話にて問い合わせをされる方など様々ですが、お話を通してグループホームにこだわることなく、その方がどのようなサービスを希望されているのかを見極めています。</p>		
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に体験入居を行っています。体験入居中のご様子は、ご家族に報告し説明をさせていただいています。入居の際には今まで御使用になっていた、なじみのタンスやベッドを持ってきていただいています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に生活をしていく場なので、日々、家事や生活の知恵を教えていただいています。毎日沢山話しをし、一緒に笑ったり、不安な気持ちが取り除けるように努めています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	随時ご家族にはご本人の状況報告を行っており、その中でご家族の心情についてもお聞きしながら、今後の支援に取り組めるように努めています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族を苑の行事にお誘いして、一緒に過ごされる時間が持てるように努めています。外出・外泊は随時、ご家族やご本人の希望に沿ってされています。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	月命日のお出かけや、昔の知り合いの方が来苑されたりしています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている	皆さんが協力・分担して出来る家事などは、声掛け・見守りを行いお任せしています。リビングにおいては会話のやり取りを観察しながら、必要に応じて声掛けをしています。また、居室前のイスに集まって話しをされたりしています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された方やご家族が不安にならない様に関係の構築に努めています。		
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の方達と一緒に過ごす中で、希望や意向の把握に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前訪問で、情報提供をして頂き、入居者の方の生活歴などの把握に努めています。入居後も、ご家族やご本人との話しの中で、より深く知ることが出来るように努めています。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	比較的入居されて長い方が多い為、1日の生活リズムを把握しており、その中で出来る事はして頂いています。心身状況の変化が見られた時は、状況の把握に努め、職員間で連携を図っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や、ご家族の要望をお聞きしてアセスメントシート、ケアプランの作成をしています。作成にあたっては、全職員の意見を取り入れ、追加や修正は随時おこなっています。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必要に応じてケアプランの見直しを行っており、対処方法を検討する必要がある場合には、ミーティングで討議を行っています。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子などは個人記録に記入し、勤務前に記録を読むようにしています。申し送りの際、報告・伝達事項を職員間で共有するようにしています。ケアプランの見直しに繋げています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診の際、ご家族にお願いしますが、都合が悪い時は職員が付き添いを行っています。急変時は臨機応変に対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議、避難訓練など、民生委員の方をはじめ、地域の方や消防の方など情報交換をしています。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、必要性がないため、行っていません。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議時に参加していただいています。パンフレットを持ってきていただいたり、成年後見制度が必要な方には利用していただけるように支援しています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週木曜日に主治医による往診、毎週火曜日は看護師による訪問を受けています。ご本人、ご家族のご要望により他科の受診をされている方もおられます。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に認知症専門病院がありますので、主治医の指示の下、必要に応じて受診します。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	昼夜を問わず常に看護師、主治医に連絡が取れる体制が出来ていますので、容態急変時はすぐに報告し、指示を受けて対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院された時は、面会に行きその際に病院側と情報交換をおこなっています。その際、ご家族ともお話をしますので、できる限りは早い退院に向け検討しています。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「看取り看護についての同意書」をご家族の方に書いていただいています。日々の生活状況に関しては、ご家族に随時報告をしており、主治医も必要に応じて、ご家族に説明を下さるなど、入居された方が、よりよい生活をおくれるように努めています。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>心身状況の変化が見られた時には、ご家族の方達との話し合いをしています。かかりつけ医師との話し合いも行います。話しの内容については職員皆で共有します。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>身体状況の変化・性格・生活リズムの情報提供を行い、職員間で情報の共有をしています。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>トイレの声掛けなどは、他の方に聞かれないように、さりげなく行っています。ご家族が面会に来られた際に状況などをお話する事がありますが、ほかの方に聞こえないように配慮すると共に、話の内容によっては、ご本人にも分からないように配慮しています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	「何が食べたい?」「どこにいききたい?」などは、日常的に会話され、できる限り、実現できるようにしています。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間など、1日の流れはだいたい決まっていますが、その日のその方の体調や状況に合わせて、時間をずらしたり、外出したり、個別に支援しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	起床時や入浴時に着替えをご自身で選んでいただいておりますが、ご自身では判断が難しい方は、職員と一緒に選んだりしています。今、現在は訪問理美容をお願いしていますが、長さなどご自身の好みに沿うように希望を言われています。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎回「何が食べたい」のかを皆さんにお聞きします。用意(野菜切り・盛り付け・味見等)や片付けも得意なことを一緒にしていただいています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食事や嗜好品については、ご希望に沿って提供できるようにしています。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄については職員間で、情報を共有しています。できる限りパットやトレーニングパンツの使用を減らす努力をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、入浴を希望される方には、毎日入っていただいています。ご自身で希望時間をおっしゃる方がいますので、希望に沿うようにしています。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は活動的に過ごして頂いていますが、無理をしないように心掛けています。夕食後は少し時間をおいてホットミルクを飲んで頂くなど、ゆっくりすごしていただき、安眠できるようにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り・掃除・洗濯などの家事全般を一緒に行っています。皆さんで役割分担をされています。裁縫なども得意な方をお願いして、してもらっています。喜んでして下さいます。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは、苑にて保管しています。小額手元に持たれている方もいます。買い物の際にご自身で支払われたりする方もおられます。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩のご希望は職員が付き添っていきます。庭を自由に見てまわられる方もいます。こちらからもお声掛けして外にお連れしたりもします。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご本人と話しを行い、希望される所に行けるように個別に対応を行っています。ご家族の方と一緒に自宅に帰られたり、お墓参りに行かれる方もいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に電話をしたいといわれる方もいます。その時は、電話を掛けていただいています。ご本人宛に手紙が届いた場合には必要に応じて読んで差し上げます。プレゼントが届いた場合には、届いたことをお伝えしています。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも自由に来られています。リビングや居室でゆっくり過ごされたり、ドライブに行かれたりします。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ふれあい会全体で身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束についての理解をしており、皆さんの安全に配慮しながら、身体拘束をしないケアをおこなっています。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	早出の職員が出社してから、遅出の職員が帰るまでの間、玄関の鍵は掛けていません。天気の良い日は、玄関の戸を網戸にしている時もあります。居室の窓も同様にしてあります。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はリビングで過ごされる方が多いので、職員は必ずリビングに1名居る様に連携を取っています。夜間は1名なので、巡視に行ったり、入居者の方の状況を把握できるようにリビングが詰所のどちらかにいるようにしています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の方の状況を見ながら包丁は使用しています。本数は常に確認し使用しない時は目の届かないところに保管しています。裁縫道具は詰所にて保管し、必要に応じて使用しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ミーティングにて生活上のリスク、事故の再発防止策を話し合っており、定期的に実施しています。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に応急手当についての講習などに参加し、勉強しています。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や家族の立会いの下、避難訓練を行い、避難方法を検討し問題を改善しています。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時や毎月の「ふれあい通信」により、ご家族に日々の状況を報告しています。必要に応じて電話連絡をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	週に1度定期往診と看護師訪問を受けているので、体調の変化が見られた時には速やかに主治医に連絡し、指示をもらい対応しています。主治医の指示により病院受診をする場合もありますが受診後はその結果を主治医に報告し、職員にも伝えていきます。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局から薬の指導や薬情報表を受け取っているため、職員は必ず目を通しています。臨時薬や変更があった際には個人カルテと伝達ノートに記載し、職員全体が把握できるようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、乳製品を摂ってもらっています。食物繊維の多い食事を心掛けています。水分摂取の促しや、適度な体操をお勧めしています。腹部マッサージを行ったり、医師の指示の下、下剤の服用など、必要に応じて調整を行っています。		食事・栄養担当が中心となって、30品目を目指して食事作りをしているところです。
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアをおこなっています。義歯を使用されている方は、夜間お預かりし洗浄剤に漬けて清潔保持を心掛けています。週に1度の歯科往診を受け口腔内の清潔保持と病気などの早期発見に努めています。治療が必要な場合は往診治療を受けています。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方の普段の状態や体調に合わせて食事量やメニューの調整を行い、毎回摂取量を記録に残しています。水分は、こまめに摂っていただいています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外部より来て頂き、感染症についての研修を受けています。うがいや手洗いを習慣として行い、使い捨ての紙で拭いていただいています。年に1回、入居者の方と職員全員、インフルエンザの予防接種を受けています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板の消毒、台所の掃除は毎日行っています。ふきんや台拭きの消毒は毎食後、冷蔵庫の掃除を定期的に行っています。食材の賞味期限は常に確認し、野菜も鮮度に気をつけています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	以前からあった民家を改修しグループホームとして活用している為、温かみのある建物になっています。実のなる木や花も植えています。玄関を入ると、入居されている方の書道や、手作りのボードを飾っており、親しみやすくしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	住宅街にある為、周囲の環境は静かで、不快な音や光がないように配慮してあります。陽射しが気になる時はカーテンにて調整をしています。玄関やリビングには庭で咲いた花や生花を飾っています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを、廊下にはイスを置いています。好きな時に好きな場所にてくつろいだり、話しをしたりされています。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご本人の馴染みのもので囲まれ、生活しやすいように位置も配慮されています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、居室やリビングは換気をしています。温かい時期は朝から、寒い時期はリビングにいらっしゃる時に居室を換気するなど、温度の変化が身体に負担を与えることの無い様に配慮しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や浴室・トイレなどには手摺りを設置しており、必要に応じて使用しています。居室においては、ご本人の行動や安全を考慮し、ご家族の方と相談して手摺りを設置している部屋もあります。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレには分かるように張り紙をしています。居室のドアは皆さん同じなので、ドア横にネームプレートを置き、居室が分かるようにしています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	草取りをしたり、花を見に庭へ行かれたりされています。玄関にイスを置いていますので、日光浴はイスを使って楽まれています。		夏祭りに備え、庭の一部を動きやすいように思案中です。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)